

令和4年度獨協医科大学教育セミナー開催のご挨拶

獨協医科大学 SD センター長 井 川 健

本学では、社会環境の変化に対応すると共に大学に対する社会貢献への期待に応えるために、教員だけでなく全学的な職員の資質向上が必要であると考え、恒常的な大学職員のスキル向上に向けた取組みとして平成26年8月1日にSDセンターを設置しました。

医科大学である本学では、教育・研究以外に、地域社会に対して診療という大きな責任を担っております。そのため、本学独自のSD(staff development)として、資格管理部門・教員研修部門・職員研修部門・看護教育部門の4部門を構成し、多角的に教職員の資質向上を目指しています。

SDセンターは『「社会のために」教育・健康・研究に関する課題に対して、主体的に分析し改善を図る事ができる人材を育成する』をmissionに、①医療教育に関する役割遂行能力を向上させる、②自ら資質向上を図り行動できる人材を育成する、③相互成長（共育）を目指す教職員の人材育成を図る、の3つをvisionに掲げ、大学全体としての研修を通し教職員の質の向上を目指しています。本学は、医学部・看護学部・附属看護専門学校・附属看護専門学校三郷校の教学関連部門と大学病院・埼玉医療センター・日光医療センターの病院部門から組織されていますが、各部署（部門）がその組織の垣根を超え本学の建学の精神や病院理念、経営に関して横断的に管理・運営を図り、相互に発展させることが必須です。また、3病院の運営では経営が重要な課題であるため、教職員教育に関する研修が必要であり、これが職員一人ひとりの努力と組織間の協調と協力により本学全体での取り組みと改善に繋がることとなります。

今回で第10回目となる獨協医科大学教育セミナーは、看護教育部門が平成25年度に看護系職員を対象に開催したのを端緒に、平成26年度からはその対象を全教職員に広げ、職員研修部門が担当し発展的拡大を図り開催しています。

今回のプログラムでは、「社会の変化に対応するこれからの医療・教育」がテーマです。直近2年間はコロナ絡みのテーマであったことから、今回は未来志向的な捉え方で社会の変化に対応するこれからの医療と教育について展望するものです。獨協医科大学教育セミナーが本学の理念と経営への共通認識への一助となるものと確信しています。

最後にこのセミナー開催にあたり携わった教職員の方々に感謝申し上げます。